

市川市議会は年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。(開会予定日は6面に掲載)
今号は11月20日の発行となりましたが、原則として定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日と1月1日に発行(新聞折り込み)しています。

9月定例会

補正予算案などを可決

平成21年度決算を認定



整備される中山参道地区 ①無電柱化された参道 ②法華経寺黒門 ③法華経寺境内のトイレ ④龍王池の防護柵

市議会は、平成22年9月定例会を9月3日から10月7日まで開催しました。

9月定例会では、市長から市川市クリーンセンター延命化工事請負契約について、市川市国民健康保険条例の一部改正、財政調整基金積立金や中山参道地区街なみ環境整備事業補助金など25億7942万3千円を補正する平成22年度市川市一般会計補正予算(第4号)などの議案13件と、報告5件、諮問1件が提出され、議員からは、子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書の提出についてなどの発議8件が提出されました。その他、陳情の審議、31人の議員による一般質問などを行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の13件を原案通り可決した他、議員提出の意見書案5件を可決、3件を否決しました。この他、陳情5件を不採択としました。

また、決算審査特別委員会で審査した平成21年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算を賛成多数で認定しました。(一般質問は2~5面に掲載。決算審査、審議結果一覧は6面に掲載)
なお、市川市交通対策審議会委員に竹内清海議員を推薦しました。

決算審査特別委員会

委員長	佐藤 義一
副委員長	二瓶 忠良
委員	荒木 詩郎
	増田 三郎
	井上 義勝
	寒川 一郎
	松葉 雅浩
	小林 妙子
	鈴木 啓一

議案

○市川市クリーンセンター延命化工事請負契約について
既定予算に基づく市川市クリーンセンター延命化工事について、総合評価一般競争入札を行った結果、落札者であるカワサキプラントシステムズ株式会社東京本社との間に工事請負仮契約を締結したため、市川市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

【主な質疑】

「請負金額の54億6千万円はクリーンセンターを新設する場合と比べ、10年間で約146億円のコスト削減ということになるが、稼働しながら工事を実施するなど、延命化工事は難易度が高いとも聞いている。結局10年もたず、重ねて費用がかかり、建て替えたほうが良かったといったリスクはないのか。」との質疑に対し、「建て替えの検討を始めた平成15年当初には、延命化工事は困難との認識をしていたが、その後、部内やコンサルタントを交えた検討の結果や、幾度かの大規模修繕の経験などを勘案し、延命化工事は難易度が高いが可能であるとの結論に達した。リスクはゼロではないと思うが、施設管理者と協力し、しっかり取り組んでいきたい。」との答弁がなされました。

○市川市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険事業の健全な運営を図るため、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額及び後期高齢者支援金等課税額の課税限度額を引き上げるものです。

○市川市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

奉免団地に隣接して所在する教職員住宅を平成23年2月1日から市営住宅とするため、奉免団地の戸数を増やすと共に、建物の老朽化により入居者が退去した木造平家建ての八幡団地1戸の供用を廃止するなどの条文整備を行うものです。

○平成22年度市川市一般会計補正予算(第4号)

一般会計補正予算案は、財政調整基金積立金など25億7942万3千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ1294億6853万6千円とするものです。

認定

○平成21年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について
平成21年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算を監査委員の意見を付けて議会の認定を求めるものです。

報告

健全化判断比率、資金不足比率、継続費の継続年度終了による精算の報告、専決処分の承認等について報告がなされました。

一般質問

9月定例会では、31人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

民主・市民=民主・市民連合
社民・市民=社民・市民ネット

行徳可動堰と行徳橋



まちづくり

外環暫定道路周辺地区

振動問題に対する市の対応はできる限りの軽減を求めている

小林妙子議員(公明党)

外環暫定道路周辺の田尻、高谷地区の住民説明会が開催され、地域住民から、車の振動で眠れない、対策を

講じてほしいとの要望が出されたと聞いている。住民説明会終了後、市は振動問題に関し、どのような対応をしているのか。答 24時間の調査を実施した結果、朝4時台から5時台に大型車の通行量が増えること、走行車線に消火栓があることなどが振動の原因と推察される。事業者にはこの結果を伝え、早期に外環道路の完成形に近づけると共に、現在の暫定供用中においても、できる限り騒音や振動の軽減に努めて頂くよう強く求めている。

移管後の利用方法は市民が海辺に親しめる場所に

守屋貴子議員(民主市民)

東浜1丁目地先の人工干潟等は三番瀬海浜公園に隣接する市川市地先である。船橋市が京葉港第二期埋め

立て事業実施まで暫定管理をしていたことは理解するが、埋め立てが白紙になった段階で市として対応すべきではなかったのか。また、市民が海辺に親しめる場所として検討していきたい。

北方町4丁目地域の土地活用

農住が調和した住宅地への誘導策は市内で調査研究を進めている

五関 貞議員(自由クラブ)

北方町4丁目地域は、市街化調整区域に区分されているが、同地域を取り巻く地となるよう、適切に誘導する方策は考えられないか。

答 市としても、周辺環境と調和する土地利用の誘導、環境を阻害する行為の規制などについて検討している。現在は、市内で地域の現状や問題の確認、その対策と課題等の調査研究を進めている。具体化には、地権者の主体的な姿勢が重要であり、地元からの相談には積極的に対応していく。

大和田地先の江戸川堤防

スロープの設置はできないか 今後も坂道整備を国に要望

増田三郎議員(自由クラブ)

旧江戸川堤防は常夜灯から河原までの地先が未だに整備されていない。このまま整備終了では困る。また、和

大和田地先の江戸川堤防は、国の予算がないため草刈りも行われず、生草が燃えた。スロープも設置されていない。迷惑施設だけがくる大和地区である。整備に対する市の考え方を問う。答 旧江戸川堤防の未整備区間は、県と再三協議した結果、平成22年度から整備を進めていくことで調整ができた。江戸川堤防の草刈りは9月下旬の予定である。スロープについては、大和田地先の坂道整備を今後も様々な機会をとらえ国に要望していきたい。

福祉

行徳橋の架け替え

安心・安全に利用できる橋に 行徳可動堰改修に併せ要望

田中幸太郎議員(つばさ)

行徳可動堰の改修に伴う行徳橋改善について、平成21年6月に要望書が国と県に提出された。

行徳可動堰は現在地でのゲート交換や耐震補強工事が計画されている。これに伴い、歩行者等が安心・安全に利用できる橋にすべきと考えるがどうか。

社会福祉協議会

近年の事業拡大で財源は十分なのか 今後も財政支援の在り方考えていく

金子 正議員(みらい)

市川市社会福祉協議会は、本市が行う福祉行政の役割を代行する大きな担い手である。高齢化や不況による

支援ニーズの高まりに伴い、事業が拡大しているが、財源は十分なのか。後見支援センターを設立し、県の予算を活用している自治体もある。本市の考えを問う。また、後見支援センターの設立は、社会福祉協議会の意向を確認していきたい。

保育園運営

保護者からの苦情への市の対応は 運営法人からヒアリング等を実施

フリテイ長嶋議員(市民の声)

JR市川駅南口にある2つの保育園に出された保護者からの苦情等に対し、市が対策を講じてほしいとの

要望が届いている。苦情等の内容と市の対応を問う。また、指定管理者の指定及び認可の取り消しは、地方自治法、児童福祉法等の規定によるが、これらには抵触していないと考えている。

障害者支援

意見や要望をどう反映していくのか 当事者の気持ちに沿って計画を策定

宮田かつみ議員(市民の声)

市の新障害者計画が策定中だが、従来の計画は良くできているものの、実施に当たっては、担当者との

通ったやりとりが求められている。特に子育て支援、就労についての相談、バリアフリー(点字ブロックの設置)、送迎サービス等、新計画に各団体の意見や要望をどう反映させていくのか。答 要望の中にはグループホーム等の整備、生活支援面では相談体制の整備や就労環境の確保、バリアフリーについては点字ブロックの設置等があり、これらについては計画に反映し進めていく。また、協議の場の見直しなど、当事者の気持ちに沿った施策を進めていく。

行 政

地域活動に弊害 緩和できないか 可能な限り柔軟な対応していきたい

バス貸し出し事業の利用制限

坂下しげき議員(市民の声)
地域は行政が直接手の行き届かない分野を担っている。その地域活動の手助けの一つが、自治会や子ども会などへのバス貸し出し事業である。非常に市民ニーズが高く、実績、稼働率も高い事業であるが、距離制限などがあり、地域活動に思うように利用できないという弊害がある。制限の緩和は図れないか。

答 市民の安全を第一に、運転者の労務管理等も考慮し、利用時間や距離を定めている。しかし、研修目的等により基準を超える場合もあると認識している。今後、団体を所管する部署も交えて協議し、可能な限り柔軟な対応をしていきたい。

東山魁夷記念館



経済所管部署

23年度組織改正の中で検討したい 経済振興には経済部が自立すべき

鈴木啓一議員(市民の声)

景気の低迷が続く、市内事業者が求める喫緊の課題である。平成22年7月には経済所管部署は独立している。経済

担当理事が招聘されたが、経済部となつては、船橋は経済部、松戸は経済担当部など、他市では経済所管部署は独立している。経済

振興を強力に推進するには経済部を再度自立させるべきだが、どう考えるか。

答 組織の体制については、新しい外部環境の変化に合わせて、常に見直しを図ることも必要と認識している。経済部の自立についても、現下の社会経済状況を十分踏まえ、23年度の組織改正の中で検討したい。

東山魁夷記念館のPR

館のアピール どう取り組む 地元の意見等も聞きPRに努めたい

かつまた竜大議員(社民・市民)

東山魁夷記念館のある中山地域では、中山法華経寺の参道の無電柱化もほぼ完了して、素晴らしい景観に

答 記念館へは、中山法華

経寺の参道を通ってくる観光客も少なくなく、記念館へのルートの一つとなっており、参道の無電柱化は、記念館をPRする機会でもあると認識している。

今後は、地元の意見等も聞きながら、記念館の展示会の周知方法等についても検討し、記念館のPRに努めていきたい。

ネーミングライツ

事業ネーミングライツの考えは 本市では可能性あると考える

並木まき議員(民主・市民)

ネーミングライツは、自治体が施設等の命名権を企業等に与え、その収入を市民サービス向上に活用でき

答 財団法人市川市緑の基

金を実施する、さくらオーナー制度も個人を対象としたネーミングライツの一つと認識している。

本市では、施設よりも事業のネーミングライツに可能性があるのではないかと考えている。今後は、対象となる事業を抽出した上で様々な意見を頂き、その結果を踏まえて進めていきたい。

横綱顕彰碑の建立

行政当局の物心両面からの支援を 住民意識の高揚には協力したい

松永修己議員(緑風会)

大相撲において、信篤地区から過去に2人の横綱が輩出された。地元では両横綱の顕彰碑の建立を望む声

答 地域の歴史的、文化的資産に脚光を当て、地域の魅力やブランド力の強化等を目的として実施されている街回遊展が、地元での顕彰碑建立の機運につながったものと思われる。

地元の魅力を引き出し、住民意識の高揚につながることにについては、できるだけ協力をしていきたい。

が高まり、自治会や有志が実現に向け、動き出している。地元の誉れとして両横綱の偉業を後世に伝承するため、行政当局の物心両面の支援をお願いしたい。

保 健

子宮頸がんの予防

児童・生徒の保護者への取り組みは 様々な機会を通じ啓発に協力したい

石原美佐子議員(民主・市民)

本市では子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について、平成23年度実施に向けて検討中と認識している。公

費助成は是非実施してほしいが、子宮頸がんは性病ではないなど、市民が正しい知識を学ぶ機会を持つことが重要である。児童・生徒の保護者を対象に、どのよ

うな取り組みが可能か。

答 保護者への周知方法としては定期的な保護者会の場の活用、学校だよりなどによる広報等が考えられる。今後は学校における様々な機会を通じて、保護者への啓発に協力していきたい。また、家庭教育学級等での実施についても、関係課と連携し進めていきたい。

子宮頸がんワクチンの公費助成

本市でも平成23年度から実施を 国の支援策に合わせた実施を検討

戸村節子議員(公明党)

子宮頸がんワクチン接種の公費助成について、県内54市町村のうち3分の1の18市町村が平成23年度に実

答 市ではワクチン接種の安全性や対象年齢等について、医師会等と継続的に協議し施策の方向性をまとめている他、正しい知識の普及について教育委員会と連携を図っている。また、ワクチン接種の公費助成は、国の支援策と合わせて実施する方向で検討している。

況はどうか。

職 員

市職員の再任用

外部委託でなく再任用職員の活用を 両方を考え合わせ検討していきたい

かいづ 勉議員(道)

市職員の定年退職者は平成25年度から毎年100名を超えるが、退職者の中には高度な専門知識や技術をとが行政にもプラスとなり、

答 長年、実務の中で培ってきた知識や経験を有効に活用できるように、退職後の再任用を進めていくが、業務によっては極めて高度な専門性を要するものもある。業務を個々に検証し、外部委託と再任用の両方を考え合わせて検討していきたい。

有する職員もいる。

アウトソーシング(外部委託)するのではなく、知識や技術を有する職員を再任用職員として活用することは行政にもプラスとなり、

公務員の人件費削減

各政党が国政選挙の手段に利用 今後の動向を注視していく

佐藤義一議員(民主・市民)

昨今のマスコミ等の公務員バッシングは容赦ない。そのせいか各政党は、公務員の人件費削減を国政選挙

答 民主党は、政権公約に国家公務員の総人件費2割削減を掲げており、市も動向を注視している。今後の職員の給与改定は、これまで通り、法の要請に即して市民の理解と職員の納得が得られるよう取り組んでいきたいと考えている。

の手段に使っている。経済が衰退した「日本の失われた20年」の真の原因は、政治の劣化にもかかわらず、市民の理解と職員の納得が得られるよう取り組んでいきたいと考えている。

教育

平成23年度も事業の継続を 経済状況不透明だが前向きに検討

学校給食費安定化食材購入緊急措置

加藤武史議員(自由クラブ)
平成21年度に開始された学校給食費安定化食材購入緊急措置事業は、22年度で終了するが、目的である「保護者の経済的負担の減少」では児童生徒や保護者から「市内業者の育成と支援」の面では米穀小売商組合加盟店から高い評価を得ていると聞いている。本措置事業を継続事業とするため、23年度の予算計上を強く要望するが、市の考え方は。

答 本事業は、21年度から2年間の緊急措置事業と位置付けられているが、経済状況は依然不透明であり、子育て家庭の負担軽減策の一つとして、事業継続を視野に入れながら前向きに検討を進めていきたい。



国府台病院の前を通る県道市川松戸線

小中学校の冷暖房機の設置

湯浅止子議員(社民・市民)
普通教室に冷暖房機が設置されていない学校があり、学校現場等では不公平感を抱いている。今年の7月の

答 平成20年7月からすべ

特別教室への設置予定は 学校と協議しながら検討したい

ての小中学校の普通教室に冷暖房機を設置した。しかし、その後の学校編成に伴う普通教室の増加により、一部で冷暖房機が未設置となったため、8月に設置工事を行った。今後は早期に適切な対応をしていく。また、特別教室への設置は、学校と協議しながら検討していきたいと考えている。

教科用図書葛南西部採択地区協議会

清水みな子議員(日本共産党)
新学習指導要領を基に、平成23年度に小学校で使用する教科書が採択された。教科書採択には、浦安市と本

答 採択地区協議会での審議は、外部からの働き掛けに左右されず、公正かつ適正な採択がなされるのが重要である。このため、千葉県では、採択終了まで、採択協議会、協議会委員、選定資料等を非公開としており、地区協議会もこれに従い非公開としている。

審議内容公開しない理由は 公正を期すため県に従い非公開に

なのか、理由を問う。

答 採択地区協議会での審議は、外部からの働き掛けに左右されず、公正かつ適正な採択がなされるのが重要である。このため、千葉県では、採択終了まで、採択協議会、協議会委員、選定資料等を非公開としており、地区協議会もこれに従い非公開としている。

小学校での英語教育活動

堀越 優議員(公明党)
社会のグローバル化が進み、国際語としての英語教育の重要性はますます高まっている。子供達が英語を身

答 現在の、英語教育に相当の知識・経験をもつ地域の人材を外国語活動指導員として採用しており、各小学校に派遣する他、教員との授業研究を実施し教員の指導力向上を図っている。今後も各小学校での外国語活動が効果的かつ円滑に行われるよう支援していく。

今後の取り組み 市の考えは 経験者の採用・派遣など今後も支援

につけるには、小学校の段階からできるだけ多く英語に触れ合う機会を持つことが必要と考える。小学校における英語教育活動に関する今後の取り組みについて、

幼児教育

稲葉健二議員(緑風会)
現在の保育園の待機児童解消の一助として、私立幼稚園で行われている預かり保育を充実することで、保

答 預かり保育の拡充には園の時間延長や保育料等の課題もある。ことも部と連携し、最適な保育環境の提供について制度設計を行いたい。教材費は、必要な補助が受けられる制度を研究検討し、障害児指導費補助金は、制度が有効活用されるよう関係者と協議していきたい。

私立幼稚園での預かり保育の充実を 課題あるが最適な制度を設計したい

護者のニーズに 대응することはできないか。また、公立に比べ補助金額が少ない私立幼稚園振興費補助金の教員費の増額や、障害児指導費補助の充実ができないか。

生涯学習

大野公民館エレベーター設置

中山幸紀議員(自由クラブ)
大野公民館のエレベーター設置については、市民要望も多く、私が以前に議

答 エレベーターの設置は、建物の強度や改修方法、経費等について関係部署と共に検討中である。また、部屋の増設に対する市民要望も認識しており、市民の利便性の向上が図れるよう、方向性が決まり次第、必要な予算要求を行いたい。

平成23年度予算に計上する考えは 方向性が決まり次第予算要求したい

ころ、検討するとの答弁であった。また、同公民館は利用率が高く、クラスを開講する部屋も不足している。平成23年度予算にエレベーターの設置と、部

国府台病院周辺の地域整備

松永鉄兵議員(緑風会)
国府台病院は平成22年4月に独立行政法人化された。病院の建て替え工事も始まり、病院を含めた周辺環境

答 周辺道路については、25年度完成を目途に、県が県道の歩道整備を進めている。用地交換については21年6月に基本合意書が締結され、また、市が取得を要望する土地の譲渡についても、新たな体制となった病院と協議を進めている。

周辺道路の整備状況は 県が歩道整備を進める

も変化してくる。周辺道路の整備状況はどうなっているのか。また、市有地である旧伝染病隔離病舎跡地と病院南側用地との交換、及び国府台公園整備のための

JR武蔵野線最終電車

大場 諭議員(公明党)
JR西船橋駅発の武蔵野線の上り最終電車は現在0時2分発であり、総武線な

答 武蔵野線は環状線である。都心からの路線との乗換駅から検討していきたい。

時刻繰り下げ 市としてどう考える 要望事項として取り上げを検討

早く終了してしまっている。利用者からは時刻繰り下げの要望も多いが、市としてどのように考えているのか。

答 武蔵野線は環状線である。都心からの路線との乗換駅から検討していきたい。

京成八幡第7号踏切道の廃止

桜井雅人議員(日本共産党)
京成八幡第7号踏切道廃止に伴う迂回路としての真間川左岸の道路について、平成22年6月定例会で遊歩道

答 自治会の補修要請もあり、真間川改修事務所とも協議し、敷石の除去、アスファルト舗装等を行った。隣接する踏切の通行量調査では、自転車が朝7時から9時の間で、廃止前の11台から300台に増加した。注意喚起の看板設置や一定期間の警備員の配置など、安全な通行の確保に努める。

混雑する真間川左岸道の対応は 注意喚起の看板設置や警備員を配置

の敷石のたつきなどを指摘した。どのような検討を経て整備されたのか。真間川左岸道路は自転車の通行が増え、混雑している。今後どう対応していくのか。

道路・交通

議会運営委員会

秋田県、仙台市、宇都宮市を視察

【日程】
平成22年10月19日～21日

【視察地及び項目】
議会運営及び議会改革について
予算・決算特別委員会について
陳情の取り扱いについて



宇都宮市議会議場にて

【主な視察内容】

秋田県は、本市が行っている本会議における質疑は行わず、すべて委員会の審査に委ねている。仙台市においては、すべての定例会で代表質疑を行い、宇都宮市においても、一般質問と共に議案質疑を行うなど、

各市とも審議の効率化を図っている。また、視察したすべての市において、請願と陳情は、受け付けや委員会付託の段階から取り扱いが異なるなど、今後の市川市議会の運営に参考となった。

特別委員会

東京外郭環状道路特別委員会

国などからの説明に対し各委員が質疑

東京外郭環状道路特別委員会は平成22年8月4日に開催し、国、東日本高速道路株式会社及び県の担当者を招いて、外環道路に関する審査を行いました。委員会の冒頭で、国土交通省首都圏道務所の担当者から、22年6月末現在、市川市内では約97%、千葉県区間全体では約98%の用地取得率となっていることなどについて説明がありました。

その後、各委員が、用地取得の今後の見通し、国道298号の地下化、暫定開通した国道周辺地域での騒音や振動への対策などについて質疑を行いました。質疑に対して、各担当者から、用地取得については、任意取得へ向けての交渉と並行して、土地収用法に基づく事業認定の手続きを進めていること、地下化については現在の用地幅ではできないこと、騒音や振動への対策については、専門家の意見を聞きながら検討している状況であることなどの答弁がなされました。

行徳臨海部特別委員会

東浜1丁目地先人工干潟を現地視察

行徳臨海部特別委員会は平成22年7月26日、東浜1丁目地先人工干潟の現地視察を行いました。現地視察では、市の担当者から、東浜1丁目地先の人工干潟は、隣接する船橋市潮見町地先の人工干潟(三番瀬船橋海浜公園)と共に、24年度に千葉県企業庁が造成事業部門を収束するに伴い、それまでに関係機関に移管されることとなっていることなどについて、現地状況を確認しながら説明を受けました。



人工干潟を視察する委員

高齢者

本市の対応策はどうなっているのか 関係課で連携を図っていく

高齢者所在不明問題

大川正博議員(公明党)

高齢者の所在不明が大きな社会問題になっている。

この背景として、家族や地域関係の希薄化があり、住民基本台帳の管理や社会保障を所管する部署の連携の欠如も浮き彫りになった。同問題に関する本市の現状と対応策を問う。

答 本市の住民基本台帳に登録される100歳以上の高齢者82人全員の所在確認が取れた。現在、75歳以上を対象に後期高齢者医療制度の被保険者証の配達状況で所在確認しており、未確認者は、実態調査を予定している。今後、適正な住民サービスの提供と住民基本台帳記録の正確性の確保のため、関係課で連携を図る。

高齢者支援

地域に合ったネットワーク必要では
より良い地域づくりを努めていく

金子貞作議員(日本共産党)

今、高齢者を一人ぼっちにさせないための具体的な手立てが求められている。市内でも高齢者を支えるために合った見守りネットワーク

事業仕分け対象 所管の考えは
継続にも課題 事業仕分けで議論を

竹内清海議員(緑風会)

敬老祝金の対象者数の推移や支給方法はどのようになっているのか。また、事業仕分けの対象になってい

るが、楽しみにしている高齢者も多い。所管としてはどう考えているのか。
答 敬老祝金の対象者数は平成12年度が2305人、22年度が4077人と10年間で約1.8倍となっている。敬老祝金は民生委員を通じて毎年9月中旬に対象者に面会して届けており、渡せなかった場合は市の職員が対応している。所管としては今後も継続していきたいと考えているが、高齢者数の増加、財政負担などの課題もあり、事業仕分けの中で議論をお願いしたい。

防犯

空き家・廃屋対策

今後、指導的部署が必要ではないか
所管の部署と協議していく

秋本のり子議員(社民・市民)

市庁舎等の公共施設での有機リン剤を使用した薬剤散布、小学校での児童によるワックスがけなどの問題

市全体の問題ととらえるべきでは
関係部署で連携図り検討していく

宮本均議員(公明党)

近年、崩壊の恐れがある空き家が目立つ。行政は、火災や自然崩壊の危険など、空き家対策の必要性は認識

しているが、個人の所有物なので手が加えられない状態にある。しかし、今後は一部署での対応ではなく、市川市全体の問題ととらえ、対策を講じる必要があるのではないかと認識している。
答 空き家、廃屋対策は、防犯や防災など、安心・安全な街づくりの観点から、重大な関心を持って取り組む問題と認識している。今後は、一部署で対策を行う課題ではないので、関係部署と十分に連携を図りながら、市の問題として検討していく。

環境

公共施設での薬剤散布

があると考えますが、現状はどうか。また、環境への配慮の視点を総合計画第二次基本計画案のアプローチに掲げているが、今後こうした問題にも、指導的部署が

必要ではないか。
答 平成21年度からは市庁舎全体での薬剤散布は中止し、害虫等が多く発生した場合、スポット的に薬剤散布している。学校でのワックスがけについては、長期休業中に行っていない。また、今後は農薬等の窓口について、所管の部署と協議していく。

平成21年度

一般会計・特別会計決算額

歳入 2018億3548万6533円
歳出 1938億809万618円

公営企業(病院事業)会計決算額

総収益 16億4691万1231円
総費用 16億4691万1231円

決算審査特別委員会を平成22年9月13日から16日まで開き、審査した内容を委員長が本定例会で報告しました。
議会における決算の審査は、議決した予算の目的に従って執行されているか、更に行政効果はどうであったかに主眼を置いて行われます。
採決の結果、平成21年度一般会計、特別会計及び公営企業(病院事業)会計決算を賛成多数で認定しました。

一般、特別、公営企業会計
平成21年度決算を認定

決算審査
特別委員会

9月定例会には新たに請願1件、陳情8件が提出され、閉会中継続審査事件と併せて所管の委員会審査しました。
議会はこのうち、陳情5件を不採択としました。(審議結果は下表)
また、委員会終了後に陳情1件が提出され、閉会中継続審査事件となりました。

請願・陳情

議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party votes (Public, Liberal, etc.), and final decision (Adopted, Rejected, etc.).

※出席した会派の議員全員が賛成：○、出席した会派の議員全員が反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

委員会の委員構成

議会運営委員会、行徳臨海部特別委員会の委員構成に変更がありました。

東京外郭環状道路特別委員会を含めた各委員会の委員構成は以下のとおりです。

議会運営委員会

- 委員長 松葉 雅浩
副委員長 並木 まき
委員
プリティ長嶋 堀越 優
中山 幸紀 加藤 武央
松永 修巳 桜井 雅人
谷藤 利子 湯浅 止子
金子 正

行徳臨海部特別委員会

- 委員長 中山 幸紀
副委員長 秋本のり子
委員
田中幸太郎 プリティ長嶋
荒木 詩郎 守屋 貴子
坂下しげき 松永 修巳
谷藤 利子 小林 妙子
笹浪 保

東京外郭環状道路特別委員会

- 委員長 金子 正
副委員長 松葉 雅浩
委員
金子 貞作 かつまた竜大
並木 まき 増田 三郎
松永 修巳 戸村 節子
竹内 清海 高安 紘一
かいづ 勉

○平成22年定例会開会予定日○

12月定例会 11月26日(金)

※定例会が開会される見通しの日程であり、事情により変更される場合があります。

会派別議員名簿 (現員数40名)
公明党: 大川 正博, 宮本 均博, 大場 諭, 堀越 優, 松葉 雅浩, 小島 節子, 戸村 節子, 浪井 保子, 笹浪 保
自由クラブ: 増山 三三, 中田 幸三, 加藤 武央, 五上 義一, 高井 一勝
日本共産党: 金子 貞子, 清水 良子, 清原 忠子, 二瓶 水子, 桜井 雅人, 谷藤 利子
民主・市民連合: 佐藤 義一, 石原 美佐子, 並木 まき, 荒木 詩郎, 守屋 貴子, 緑風会: 竹内 清海, 松永 修巳, 松葉 雅浩, 稲葉 健巳, 市民の声: 宮田 かつみ, 市川 啓一, 坂下 長嶋, 鈴木 一樹, みらい: 岩井 清郎, 金子 正郎, 寒川 一郎, 社民・市民ネット: 秋本 竜大, 湯浅 止子, かいづ 勉, つばさ: 田中 幸太郎

※○は会派代表者。

● 議員の寄附や年賀状(答礼のための自筆によるものを除く)は公職選挙法で禁止されています●